オーシャンビル
059(228)2545

●岐阜支社
岐阜市柳ヶ瀬通1—12
岐阜中日ビル8階
058(266)7576
FAX　058(262)6571

●東濃支局
多治見市精華町73
セントラルコーポ多治見306号
0572(23)7812

●西濃支局
大垣市本町2—6スタッド1602号
0584(75)1289

岐阜

加藤電気炉材製造

揮発性有機化合物の分解処理

小型・低コスト装置発売

ガス95%以上分解　作業環境 大幅に改善

耐火炉材やクリーン焼却装置の製造販売を手掛ける加藤電気炉材製造（本社土岐市妻木町2504の1、加藤義一社長、電話0572・57・6234）は、小型、低コストの省エネ型高効率VOC（揮発性有機化合物）分解処理装置の販売を開始した。炭化ケイ素ハニカムと金属触媒フィルターを組み合わせた方式で、VOCガスを95%以上分解する。印刷、塗装工場など有機溶剤を使用する事業所に対し、作業環境の改善用に提案していく。

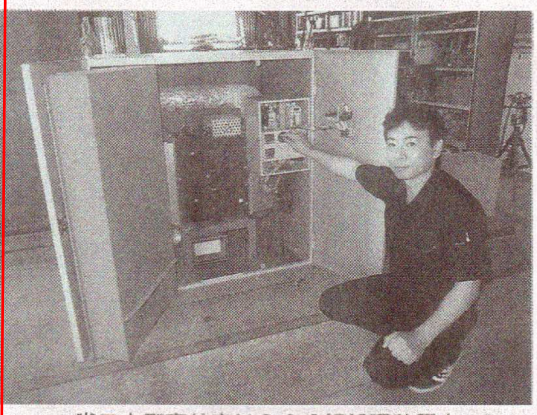
同社のVOC分解処理装置は、環境省の「地域の産官学連携による環境技術開発基盤整備モデル事業」の業務委託を受け、岐阜大学、岐阜県保険環境研究所、TYKと共同で07年から研究に着手。2010年に装置を完成した。

炭化ケイ素ハニカムの通電発熱特性を活かし、VOCガスを300度に加熱した後、触媒フィルターで分解する仕組み。炭化ケイ素ハニカムは均等に発熱するため、装置の小型化を実現。また、ガス燃焼を伴わず、安全性が高いのが特徴。また、プレート式熱交換器を装備し、省エネ設計を図っている。

今回、新たに発売する装置は、10年に完成したものと比べ、さらに3分の1の大きさに小型化を図った。装置のサイズは幅1㍍、高さ約1・22㍍、奥行き78㌢。重さ230㌔。処理能力は1時間あたり80立方㍍。使用電力は1時間あたり5㌔㍗㍗。販売価格は230万円から。

室内に置くほか、発生源から直接VOCガスを取り込む方式での設置が可能。加藤克吉取締役工場長は「今後、展示会などでアピールして、販路拡大を図っていきたい」と話している。

（土岐・片桐芳樹）



省エネ型高効率VOC分解処理装置と加藤克吉取締役工場長

岐阜会議所

「今後の日本」講演会

ネット普及で他者排斥も

講演する春川氏

【岐阜】岐阜商工会議所（堀江博海会頭）は25日、岐阜市の同会議所で経済講演会を開催。会員約80人が参加した。

冒頭、広田孝昭副会頭が「ヨーロッパ経済が不透明な中、デフレや円高の進行など日本経済を取り巻く環境は厳しい。岐阜会議所として講演会やセミナーを積極的に開催するなど、岐阜地域の発展に寄与したい」とあいさつした。

講演会では、「どうなる今後の日本～時代の風　政治経済の変化を読む～」をテーマに、読売テレビ放送報道局解説副委員長の春川正明氏が講演した。

春川氏は「インターネットの普及により、物事を感情的にとらえ、自分と異なる考えを主張する人を排斥する人が増えている。その要因の一つに、政府や政治に対する国民の不信感がある。具体的な政策が求められている」と強調した。

各務原会議所

ゼロから構築 今の課題

中部ものづくり指導者 技能伝承塾を開講

大勢の技術者らが参加した

【各務原】各務原商工会議所（星野鉄夫会頭）は25日、各務原市の産業文化センターで「中部ものづくり指導者技能伝承塾」を開講した。経済産業省の「ものづくり指導者養成支援事業」の一環。ものづくりに携わる技術者や技能者ら26人が参加した。

講座では、中小企業診断士の時山正氏が「ものづくり概論」について解説した。時山氏は「ゼロからつくり上げることが、ものづくりの今後の課題でなければならない」と指摘。「既存の技術をふくらませるのではなく、求められている技術は何か、そのためには何が必要で、どうすべきかを、技術者も考える必要がある」と語った。

さらに、「グローバル化に伴い、競合他社が多様化しつつある。自社と顧客だけでなく、他社と顧客との関係を念頭におき、世の中の構造を認識すべきだ」と強調した。

その後、柳原幸一副会頭らが出席し、開講式を実施した。同講座は、12月まで約20回にわたり開催する。

国体に合わせ39店が

安八ウエルカム事業

商工会と西濃食品衛生協会安八支部

【大垣】安八町商工会（高田英雄会長）と西濃食品衛生協会安八支部（国枝寿夫支部長）は、秋に開かれる「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」に合わせて、10月14日まで「安八ウエルカム事業」を展開している。会員の喫茶店や飲食店など39店舗が参加している。

ぎふ清流国体・ぎふ清流大会の一層の盛り上げを図るのが狙い。協力店舗では店の内外に大小2種類ののぼり